

埼玉県ネットアドバイザーによる子供安全見守り講座について

1 講座の目的

スマートフォンの急激な普及により、青少年の間でも様々なトラブルが急増しており、その対策は緊急の課題となっている。このため県では、平成22年度から、ネットアドバイザーを養成し「子供安全見守り講座」を実施している。実施対象者は、小・中学生、保護者、教員、PTA関係者である。

2 ネットアドバイザーについて

人数は80名（平成27年度）で、主にPTA役員経験者、民生・児童委員、青少年関係地域活動者等である。

3 講座内容

携帯電話やスマートフォン等の危険性や保護者の役割について啓発する。

- 子供に持たせる前に、ネットの危険性の理解と利用目的を明確にするため、親子でよく話し合う。
- 子供に持たせる場合、保護者は利用について継続的に管理し、注意深く見守っていく。
- 犯罪やトラブルに巻き込まれないためのフィルタリングの設定と家庭のルール作り。
- 日頃から親子のコミュニケーションを十分にとり、子供がネット問題で困った時に素直に相談できる信頼関係を築く。

4 講座の実施状況

年 度	開催数	受講人数	開催内訳		
			小学校	中学校	その他
平成22年度	256回	17,279人	217	14	25
平成23年度	249回	15,457人	198	24	27
平成24年度	228回	15,355人	152	33	43
平成25年度	245回	15,796人	154	47	44
平成26年度	341回	18,046人	214	68	59
平成27年度	324回	保護者・教員 16,750人 児童生徒 24,756人	233	64	27

※ 平成27年度の受講人数は平成28年1月末現在

※ 親子講座の申し込みが増加[平成26年度:148回(43%) → 平成27年度:214回(66%)]

5 受講者（保護者）アンケート

(1) アンケート結果

回答数 8,929件 (平成28年1月末までに回収できた回答数)

今回の講座は満足しましたか	満足した	8,056 (90.2%)
	期待と違った	133 (1.5%)
	どちらともいえない	578 (6.5%)
	無回答	162 (1.8%)
今回の講座内容はわかりやすかったですか	よくわかった	8,371 (93.8%)
	よくわからなかった	70 (0.8%)
	どちらともいえない	397 (4.4%)
	無回答	91 (1.0%)
今回の講座は今後の子供への指導に活用できますか	活用できる内容があった	8,507 (95.3%)
	活用できる内容はなかった	54 (0.6%)
	どちらともいえない	247 (2.8%)
	無回答	121 (1.3%)
子供たちを携帯電話の危険性から守るために、まず保護者が危険性を知る今回のような保護者向け講座は必要だと思いますか	必要である	8,451 (94.6%)
	必要ではない	49 (0.6%)
	どちらともいえない	334 (3.7%)
	無回答	95 (1.1%)
お子さんは、自分専用のスマートフォン・携帯電話等をお持ちですか	スマートフォン	1,642 (18.4%)
	携帯電話	764 (8.6%)
	キッズ用	1,828 (20.5%)
	持っていない	4,388 (49.1%)
	無回答	307 (3.4%)
フィルタリングの利用について	利用していない(持っていない)が今後利用する	4,614 (51.7%)
	すでに利用している	2,338 (26.2%)
	利用していない(今後も利用しない)	817 (9.1%)
	無回答	1,160 (13.0%)
(複数回答) お子さんはインターネット接続ができる自分専用の機器を持っていますか (回答数9,659)	携帯ゲーム機	5,428 (56.2%)
	携帯音楽プレーヤー	675 (7.0%)
	タブレット	1,059 (11.0%)
	その他	444 (4.6%)
	無回答	2,053 (21.2%)
家庭内でのルールについて	決めていない(持っていない)が今後決める	3,646 (40.8%)
	すでに決めている	4,479 (50.2%)
	決めていない(今後も決めない)	249 (2.8%)
	無回答	555 (6.2%)

(2) 自由記述 (抜粋)

ア 講座の内容について

- 親の話だけでなく、第三者の口からインターネットの危険性を知るのは重要。親と社会の認識が同じであることを知れるよい機会であることに感謝します。
- 子ども達と一緒に聞いて大変ありがたいと思いました。
- 今回は高学年の親子だけでしたが、子どもが低学年のうちから保護者だけでもこのような講座があると心構えが出来てよいと思います。普段の生活習慣や態度がきちんとできていなければ、絶対に持たせるべきではないと改めて思いました。冊子はとてもわかりやすくよかったです。

イ 家庭でのルールについて

- 携帯ゲーム機をもっていて、ルールを決めてもいつの間にか崩しになり破られています。今後スマホを持たせる日が来た時のためにも、今ゲーム機の時点からきちんとルール決め、徹底していきたいと思います。
- 家庭内でのルールを決めていても守り切れていない事もあるので、しっかりと再度話し合いたいと思います。
- 便利に暮らす道具としてうまく付き合っていきたいと思っています。もう一度ルールについて決めたいと思います。

ウ 持たせる時期について

- 高校生になったらLINEをやっていると仲間はずれにされると聞きました。心配ですがルールを守りフィルタリングをして持たせるべきなのかなと思いました。
- 中学生になると周りの皆が持ち始めるので、皆が「持たなければいけない」と思わない風潮ができればいいなと思います。
- 中学生になったらスマホが欲しいと言われています。まわりでも中学生になると多くの子が持っているようでLINE交換するそうです。スマホを持たせるべきか迷っています。

エ 親の役割について

- 携帯やネットゲームなどに依存してしまうのは、大人の責任も大きいと思うので、子どもの見守りはしっかりしていきたいと思いました。
- まわりの友達が持ち始めたら本人も欲しがると思う。危険をよく知って使えるようになってからにしたいし、よく注意して見ていかなければならないと思いました。
- 情報ツールは便利な反面、危険もはらんでいることが良く分かりました。自分のことも気をつけながら、子どもたちの指導にあたりたいと思います。

オ その他

- わが家はスマートフォンを持たせていません。持たなくても大丈夫だということをもっと広めてもらいたいです。
- 全て親が把握するのは難しいことだと思うが、危険な思いや辛い思いなどはさせたくないのが親の気持ちです。
- スマホ以外の楽しみを子どもたちに与えられればと思いました。
- 情報モラル教育をしっかりとやっていく必要があると改めて思いました。